

## 自然災害発生時における業務継続計画

法人名	合同会社ウリィー ダム	種別	放課後等デイサービス
代表者	片岡 章吾	担当者	小山 駿一
所在地	日野市栄町2 - 2 - 3	電話番号	042-506-2859

※本ひな形における各項目は、別途お示しする「障害福祉サービス事業所等における自然災害発生時の業務継続ガイドライン」3-2-1～3-2-4に対応しています。6は通所系、7は訪問系、8は相談支援事業固有事項となっており、各施設・事業所等のサービス類型、特徴等に応じ、適宜改変して活用いただくことを想定しています。

## 総論 基本方針

1. 人命の保護を最優先にする。  
職員・利用者の生命や生活を維持しつつ、避難に努める。
2. 子どもたちの安全を確保する。
3. 余力がある場合は、近隣事業所の協力に当たる。

## 推進体制

主な役割	部署・役職	補足
責任者	代表社員	
現場責任者	担当者	
家族関係担当	児童発達支援管理責任者	

## リスクの把握 ハザードマップ(別紙添付)

### 被災想定

【自治体公表の被災想定】  
首都直下地震等による東京の被害想定

被害想定	令和4年5月25日公表
火災(人)	26
屋内収容物による被害(人)	4
ゆれ・液状化建物による被害(人)	44
急傾斜地崩壊による被害(人)	1
屋外落下物による被害(人)	0
ブロック塀等による被害(人)	5
合計死者数(人)	79
負傷者数(人)	1,484
建物全壊棟数(棟)	1,299
焼失棟数(棟)	1,299

【自施設で想定される影響】

	当日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目
--	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

電力			復旧	→	→	→	→	→	→
飲料水	備蓄	備蓄							
生活用水	備蓄	復旧	→	→	→	→	→	→	→
携帯電話		復旧	→	→	→	→	→	→	→
メール		復旧	→	→	→	→	→	→	→
ガス			復旧	→	→	→	→	→	→

## 研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し

### 研修・訓練の実施

毎月の避難訓練と、年一回の研修を実施する。

### BCPの検証・見直し

年一回運営会議にて、見直しと共有を図る。

## 平常時の対応

### 建物・設備の安全対策

#### 人が常駐する場所の耐震措置

場所	対応策	備考
建物		新耐震基準設計

#### 設備の耐震措置

対象	対応策	備考
棚等	転倒防止対策	
消火器等	消火器等の設備点検	
窓ガラス	飛散防止フィルムの貼り付け	

### 水害対策

対象	対応策	備考
避難の仕方	年一回の研修にて周知	
外壁等の欠損等	随時確認し、発見次第共有	
暴風雨による危険性の確認	年一回の研修にて周知。	

### 雪害対策

対象	対応策	備考
急な積雪、道路の凍結	送迎の中止。保護者へのお迎えのお願い。スタッドレスタイヤの装着。	

### 電気が止まった場合の対策

稼働させるべき設備	自家発電機もしくは代替策
情報機器：PC・携帯	バッテリー充電器の用意、自動車の電源を使用しての充電
冷蔵庫、冷凍庫	夏場は暑さ対策として保冷材等で代用
照明器具	懐中電灯、乾電池の用意
暖房器具	毛布、カイロ
非常用電源	可搬型蓄電池

### ガスが止まった場合の対策

被災時に稼働させるべき設備と代替策を記載する。

稼働させるべき設備	代替策
ガスの使用をしない	
暖房器具	毛布、使い捨てカイロ等

### 水道が止まった場合の対策

#### 飲料水

職員と利用者数×2L×1日分の飲料水を確保し、保存期間に留意する。

#### 生活用水

簡易トイレの使用。断水でなければ、風呂場の浴槽に水を貯める。

### 通信が麻痺した場合の対策

固定電話 1台  
事業所の携帯 2台  
職員個人の携帯  
可搬型蓄電池の使用  
  
伝言ダイヤル等の活用

### システムが停止した場合の対策

PC、重要書類等は、浸水の恐れのない上階での保存。  
重要書類については、紙で保管。  
データの喪失に備えて、バックアップを随時行う。  
可搬型蓄電池の使用

## 衛生面(トイレ等)の対策

### トイレ対策

#### 【利用者】

簡易トイレ及び消臭個形剤の備蓄。  
生理用品の備蓄。

#### 【職員】

簡易トイレ及び消臭個形剤の備蓄。  
生理用品の備蓄。

### 汚物対策

排泄物等は、黒いビニール袋に入れて消臭個形剤を使用して密閉し、利用者の出入りのない空間へ(外倉庫等)衛生面に留意して隔離、保管しておく。  
消臭個形剤を使用した汚物は、燃えるごみとして処理が可能である。

### 必要品の備蓄(別紙)

## 緊急時の対応

### BCP発動基準

#### 【地震による発動基準】

日野市周辺において、震度6以上の地震が発生し、被災状況や社会的混乱を総合的に勘案し、担当者が必要と判断した場合、管理者の指示によりBCPを発動し、対策本部を設置する。

#### 【水害による発動基準】

- ・大雨警報(土砂災害)、洪水警報が発表されたとき。
- ・台風により高潮注意報が発表されたとき。

また、担当者が不在の場合の代替者

担当者	代替者①	代替者②
担当者	児童発達支援管理責任者	代表社員

### 行動基準

発生時の行動指針は、下記の通りとする。

- ①自身及び利用者の安全確保
- ②二次災害への対策(火災や建物の倒壊など)
- ③地域との連携
- ④情報発信

#### 平常時

日常点検 訓練/見直し  
情報交換 情報共有

#### 直後

命を守る行動  
(安全確保、避難)

#### 当日

二次災害対策  
(避難場所の確保等)

#### 体制確保後

事業再開

#### 体制回復後

通常営業・業務

#### 完全復旧後

評価・反省・見直し

- 情報収集
- 支援体制確保(人員、物資等)
- 情報共有
- 連携
  - ・行政連携
  - ・事業所間連携
- 情報発信
  - ・利用者家族安否情報
  - ・施設、事業所情報

## 対応体制

対応体制や各班の役割を図示する。代替者を含めたメンバーを検討し、記載する。

別紙 自衛消防隊の編成及び任務等

## 対応拠点

第1候補場所	第2候補場所	第3候補場所
事務室		

## 安否確認

### 利用者の安否確認

#### 【安否確認ルール】

震災発生時は、電話、メール等にて利用者の安否確認を行う。  
お預かり時に負傷者が発生した場合には応急処置を行い、必要な場合は保護者へ連絡を取り、病院等の確認を行う。連絡がつかない場合、緊急の場合は日野駅前病院へ受診する。

#### 【医療機関への搬送方法】

送迎車又は救急車の要請。

### 職員の安否確認

#### 【施設内】

震災発生時は、利用者の安否確認と合わせて行い、担当者に報告する。

#### 【自宅等】

自宅等で被災した場合(自地域で震度5強以上)は、①電話、②SNS、③災害用伝言ダイヤルで、事業所に自身の安否を情報を報告する。

報告する事項は、自身・家族が無事かどうか、出勤可否を確認する。

### 職員の参集基準

1. 震度5強以上の揺れが発生した場合は、職員から事業所に連絡をとり、30分以上 連絡が取れない場合は、安全確保しながら出勤する。
2. 自らまたは家族が被災した場合や、交通機関、道路などの事情で出勤が難しい場合は出勤しなくてよい。

施設内外での避難場所・避難方法

【施設内】

	第1避難場所	第2避難場所
避難場所	保育室	玄関（2階事務室）
避難方法	保育室の中心に集まる。	外への避難も考え、防災頭巾等を着用して集まる。 （垂直非難の場合は、2階へ。）

【施設外】

	第1避難場所	第2避難場所
避難場所	駐車場	東光寺小学校
避難方法	徒歩	徒歩又は動けるようなら車

重要業務の継続

経過目安	発生時	発生後6時間	発災後1日	発災後3日
職員数	出勤率30%	出勤率50%	出勤率70%	出勤率90%
	1～2名	2～3名	3名	4名
在庫量	100%	90%	70%	20%
ライフライン	停電、断水	停電、断水	停電、断水	断水
重要業務 の基準	生命を守るため 必要最低限	食事中心、その 他は減少・休止	一部減少・休止	ほぼ通常、一部 減少・休止
食事の回数	減少	減少	朝・昼・夕	ほぼ通常
食事支援	必要な方に支援	必要な方に支援	必要な方に支援	ほぼ通常
排泄支援	必要な方に支援	必要な方に支援	必要な方に支援	ほぼ通常



職員の管理(ケア)  
休憩・宿泊場所

休憩場所	宿泊場所
2階 事務室	1階 保育室
2階 相談室	2階 事務室
1階 保育室	2階 相談室

復旧対応  
破損個所の確認

対象	状況(いずれかに○)	対応事項/特記事項
建物・ 設備	躯体被害	重大 / 軽微 / 問題なし
	電気	通電 / 不通
	水道	利用可能 / 利用不可
	電話	通話可能 / 通話不可
	インターネット	利用可能 / 利用不可
	...	
建物・ 設備 (フロア単位)	ガラス	破損・飛散 / 破損なし
	本棚等	転倒あり / 転倒なし
	天井	落下あり / 被害なし
	床面	破損あり / 被害なし
	壁面	破損あり / 被害なし
	照明	破損・落下あり / 被害なし
	...	

業者連絡先一覧の整備

業者名	連絡先	業務内容
東京ガスライフバル南多摩	042-373-0120	電気・ガス
東京都水道局	042-548-5110	水道

情報発信(関係機関、地域、マスコミ等への説明・公表・取材対応)

公表のタイミング、範囲、内容、方法についてあらかじめ方針を定めて記載する。

必要事項はHPに記載。  
その他、関係機関には電話などで連絡をする。

4. 他施設との連携

連携体制の構築

連携先との協議

連携先と連携内容を協議中であれば、それら協議内容や今後の計画などを記載する。

--

**連携協定書の締結**

地域との連携に関する協議が整えば、その証として連携協定書を締結し、写しを添付する。

--

### 地域のネットワーク等の構築・参画

施設・事業所等の倒壊や多数の職員の被災等、単独での事業継続が困難な事態を想定して、施設・事業所等を取り巻く関係各位と協力関係を日ごろから構築しておく。地域で相互に支援しあうネットワークが構築されている場合はそれらに加入することを検討する。

#### 【連携関係のある施設・法人】

施設・法人名	連絡先	連携内容

#### 【連携関係のある医療機関（協力医療機関等）】

医療機関名	連絡先	連携内容
日野駅前病院（花輪病院）	042-582-6001	協力医療機関
南多摩保健所	042-371-7761	管轄保健所

#### 【連携関係のある社協・行政・自治会等】

名称	連絡先	連携内容
東京都 施設サービス支援課 児童福祉施設担当	03-5320-4374	管轄行政
日野市役所 障害福祉課	042-514-8485	管轄行政

### 連携対応

#### 事前準備

連携協定に基づき、被災時に相互に連携し支援しあえるように検討した事項や今後準備すべき事項などを記載する。

--

### 利用者情報の整理

避難先施設でも適切なケアを受けることができるよう、最低限必要な利用者情報を「利用者カード」などに、あらかじめまとめておく。

- ・防災バックの中に利用者名簿が入っている。

### 共同訓練

連携先と共同で行う訓練概要について記載する。

## 5. 地域との連携

### 被災時の職員の派遣

(災害福祉支援ネットワークへの参画や災害派遣福祉チームへの職員登録)

地域の災害福祉支援ネットワークの協議内容等について確認し、災害派遣福祉チームのチーム員としての登録を検討する。

### 福祉避難所の運営

#### ① 福祉避難所の指定

福祉避難所の指定を受けた場合は、自治体との協定書を添付するとともに、受入可能人数、受入場所、受入期間、受入条件など諸条件を整理して記載する。

社会福祉施設の公共性を鑑みれば、可能な限り福祉避難所の指定を受けることが望ましいが、仮に指定を受けない場合でも被災時に外部から要援護者や近隣住民等の受入の要望に沿うことができるよう上記のとおり諸条件を整理しておく。

#### ② 福祉避難所開設の事前準備

福祉避難所として運営できるように事前に必要な物資の確保や施設整備などを進める。

また、受入にあたっては支援人材の確保が重要であり、自施設の職員だけでなく、専門人材の支援が受けられるよう社会福祉協議会などの関係団体や支援団体等と支援体制について協議し、ボランティアの受入方針等について検討しておく。

## 通所系・固有事項

### 【平時からの対応】

- ・サービス提供中に被災した場合に備えて、緊急連絡先について複数の連絡先や連絡手段を把握しておく。
- ・地域の避難方法や避難所に関する情報に留意し、地域の関係機関と良好な関係を作っていく。

### 【災害が予想される場合の対応】

- ・台風などで甚大な被害が予想される場合などにおいては、サービスの休止・縮小を余儀なくされることを想定し、あらかじめその基準を定めておく。利用者や家族にも説明し、必要に応じて、サービスの前倒しや閉所等も検討する。

### 【災害発生時の対応】

- ・BCPに基づき速やかなサービスの再開に努める。
- ・利用中に被災した場合は、利用者の安否確認後、あらかじめ把握している緊急連絡先を活用し、利用者家族への安否状況の連絡を行う。利用者の安全確保や家族への連絡状況を踏まえ、順次利用者の帰宅を支援する。帰宅にあたって、可能であれば利用者家族の協力も得る。
- ・被災により一時的に事業所が使用できない場合は、利用者宅を訪問するなど代替サービスの提供を検討する。

## 訪問系・固有事項

### 【平時からの対応】

### 【災害が予想される場合の対応】

### 【災害発生時の対応】

## 相談支援事業・固有事項

### 【平時からの対応】

### 【災害が予想される場合の対応】

### 【災害発生時の対応】

## <更新履歴>

更新日	更新内容	更新者
-----	------	-----

令和5年4月1日	BCP（自然災害）作成	小山
令和6年10月18日	BCP（自然災害）修正	小山
令和7年5月9日	BCP（自然災害）修正	小山
令和7年10月30日	BCP（自然災害）修正	小山

(参考) 記入フォーム例

	当日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目
電力			復旧	→	→	→	→	→	→
飲料水	備蓄	備蓄							
生活用水	備蓄	復旧	→	→	→	→	→	→	→
携帯電話		復旧	→	→	→	→	→	→	→
メール		復旧	→	→	→	→	→	→	→
ガス			復旧	→	→	→	→	→	→



【様式②】施設・設備の点検リスト

場所/対象	対応策	備考
建物（柱）		
建物（壁）		
パソコン		
キャビネット		
本棚		
金庫		
浸水による危険性の確認		
外壁にひび割れ、欠損、膨らみはないか		
開口部の防水扉が正常に開閉できるか		
暴風による危険性の確認		
外壁の留め金具に錆や緩みはないか		
屋根材や留め金具にひびや錆はないか		
窓ガラスに飛散防止フィルムを貼付しているか		
シャッターの二面化を実施しているか		
周囲に倒れそうな樹木や飛散しそうな物はないか		

【様式③】備蓄品リスト

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
マスク	50枚		玄関棚の上	片岡
体温計（非接触型含む）	3本		玄関棚の上	片岡
手袋（使い捨て）	6セット		玄関棚の上（汚物処理セット）	片岡
エプロン（使い捨て）	5枚		玄関棚の上（汚物処理セット）	片岡
キャップ	1枚		玄関棚の上（汚物処理セット）	片岡
消毒用アルコール	60ml×1本		玄関棚の上	片岡
ガーゼ・コットン	Sサイズ 31枚 Mサイズ 5枚		玄関棚の上	片岡
トイレットペーパー	12ロール		洗面所の棚	片岡
ティッシュペーパー	ポケット20箱8		玄関棚の上、キッチン下の棚	片岡
ペーパータオル	35箱		洗面所の棚	片岡
保湿ティッシュ	80枚×10袋		キッチン下の棚	片岡
ゴミ袋	大6枚、小30枚		事務室棚の上、キッチン上の棚	片岡
汚物処理セット	5セット		玄関棚の上	片岡
熱さまシート	6枚		冷蔵庫	片岡
貼るカイロ	13枚		玄関棚の上	片岡
絆創膏	120枚		玄関棚の上	片岡
湿布	24枚		玄関棚の上	片岡
綿棒	2箱		玄関棚の上	片岡
ピンセット	2本		玄関棚の上	片岡
爪切り	1本		玄関棚の上	片岡
パルスオキシメーター	1本		玄関棚の上	片岡
バスタオル	12枚		洗面所棚の上	片岡
ヘルメット	6個		下駄箱	片岡
防災頭巾	12個		下駄箱	片岡
ビニールシート	5枚		下駄箱	片岡
毛布	4枚		保育室	片岡
乾パン	475g×2箱	2027. 6、 2027. 11	下駄箱	小山
さば缶	65g×2缶	2025. 11	下駄箱	小山
けんちん汁	250g×1袋	2027. 9	下駄箱	小山

アルファ化米飯	100g×4袋	2028.4	下駄箱	小山
水	20×6本	2026.9	保育室 押入の中	小山
消火器	1本	2033	キッチンガスコンロ前	小山
品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
工具セット	1箱		事務室棚の下	片岡
タオル	大 10枚、小 25枚		洗面所の棚	片岡
電池	単一 2本 単二 4本 単三 9本 単四 29本		事務室棚	片岡
非常用給水バック	50×1個		防災バック	小山
アルミシート	1枚		防災バック	小山
布テープ	1個		防災バック	小山
スリッパ	1足		防災バック	小山
ラバー手袋	1組		防災バック	小山
ラップ	1本		防災バック	小山
アルミホイル	1本		防災バック	小山
懐中電灯	1本		防災バック	小山
プラカップ	5P		防災バック	小山
ティッシュ	1箱		防災バック	小山
ボディタオル	1枚		防災バック	小山
圧縮袋	1枚		防災バック	小山
エア枕	1個		防災バック	小山
ポリ袋	450×3枚		防災バック	小山
歯ブラシ	3本		防災バック	小山
割りばし	5本		防災バック	小山
スプーンフォーク	1本		防災バック	小山
お薬ケース	1個		防災バック	小山
紙皿	3枚		防災バック	小山
マスク	3枚		防災バック	小山
携帯トイレ	3個		防災バック	小山
ホイッスル	1個		防災バック	小山
綿棒	20本		防災バック	小山
アルミブランケット	1枚		防災バック	小山
ミニカッターナイフ	1本		防災バック	小山

レインポンチョ	1枚		防災バック	小山
2WAYドライバー	1本		防災バック	小山
筆記用具セット	1セット		防災バック	小山
予備袋	1枚		防災バック	小山
三角巾	1枚		防災バック	小山
ツナ缶	2缶	2026. 01. 30	防災バック	小山
利用者名簿	1冊		防災バック	小山
AED	1台	2026. 6	冷蔵庫の横	小山
可搬型蓄電池	1台		事務室 下の棚	小山

### 【様式④】利用者の安否確認シート

[illegible]

※利用者の容態・状況には、アレルギーの有無(アレルギー情報)もあらかじめ把握しておくとうい。

【様式⑤】職員の安否確認シート

[illegible]

【様式⑥】建物・設備の被害点検シート

対象		状況（いずれかに○）	対応事項/特記事項
建物・設備	躯体被害	重大／軽微／問題なし	
	エレベーター	利用可能／利用不可	
	電気	通電　／　不通	
	水道	利用可能／利用不可	
	電話	通話可能／通話不可	
	インターネット	利用可能／利用不可	
	・・・		
建物・設備 （フロア単位）	ガラス	破損・飛散／破損なし	
	キャビネット	転倒あり／転倒なし	
	天井	落下あり／被害なし	
	床面	破損あり／被害なし	
	壁面	破損あり／被害なし	
	照明	破損・落下あり／被害なし	
	・・・		